



# 2026年3月期 決算説明会



スズキ株式会社【広報】公式Youtubeチャンネルにてスズキ公式ジムニーファンイベント「Jimny Day」(2026.3.28開催)  
ダイジェスト動画を公開中

<https://www.youtube.com/watch?v=q-X8kaWcwPM>

2026年5月14日 スズキ株式会社

### 2026年3月期決算

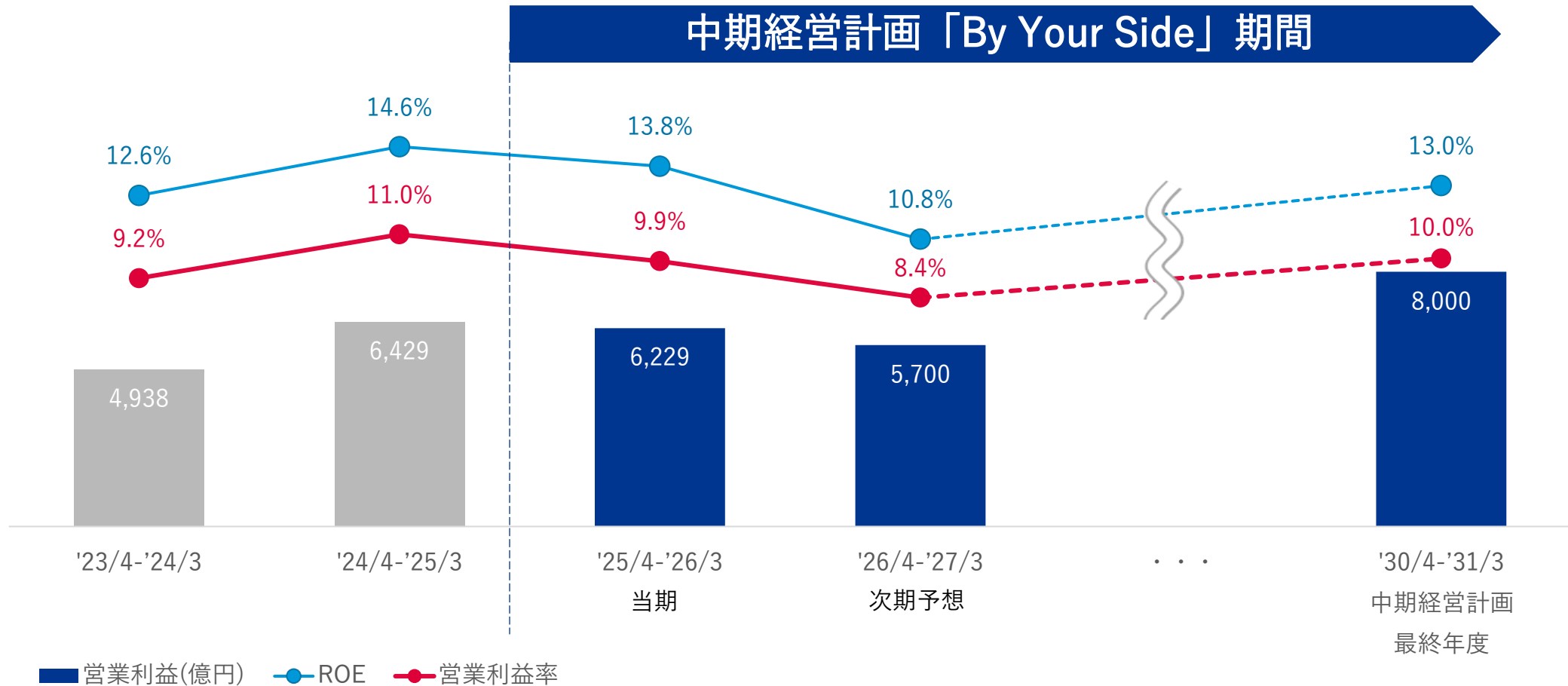
- ・ 売上収益 6兆2,930億円、営業利益6,229億円
- ・ 原材料コストの上昇や人および技術への成長投資の継続により増収減益
- ・ 第4四半期の営業利益は四半期として過去最高

### 2027年3月期予想

- ・ 売上収益 6兆8,000億円、営業利益5,700億円を見込む
- ・ 四輪販売台数では355万台(前期比+7.1%)を見込むものの、原材料価格の高騰等により増収減益
- ・ なお、中東情勢は見通しが不透明であり、リスク影響については織り込んでいない
- ・ リスクが本格的に顕在化した場合、通期で約1,000億円の影響と試算

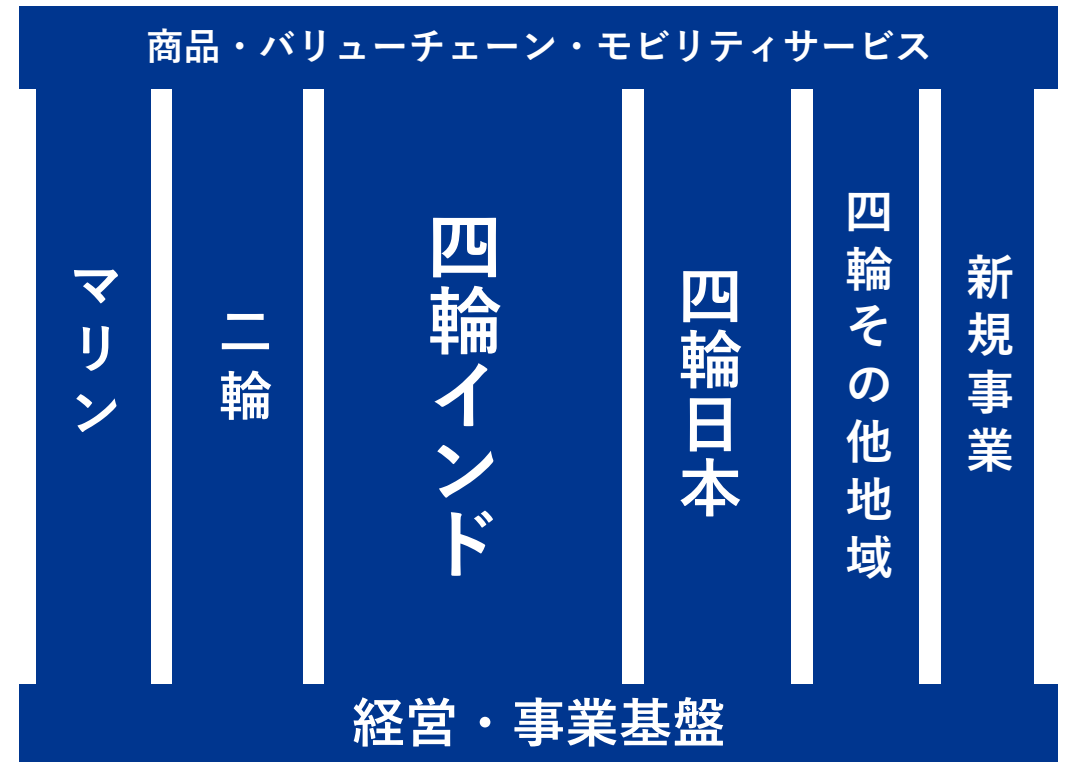
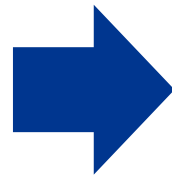
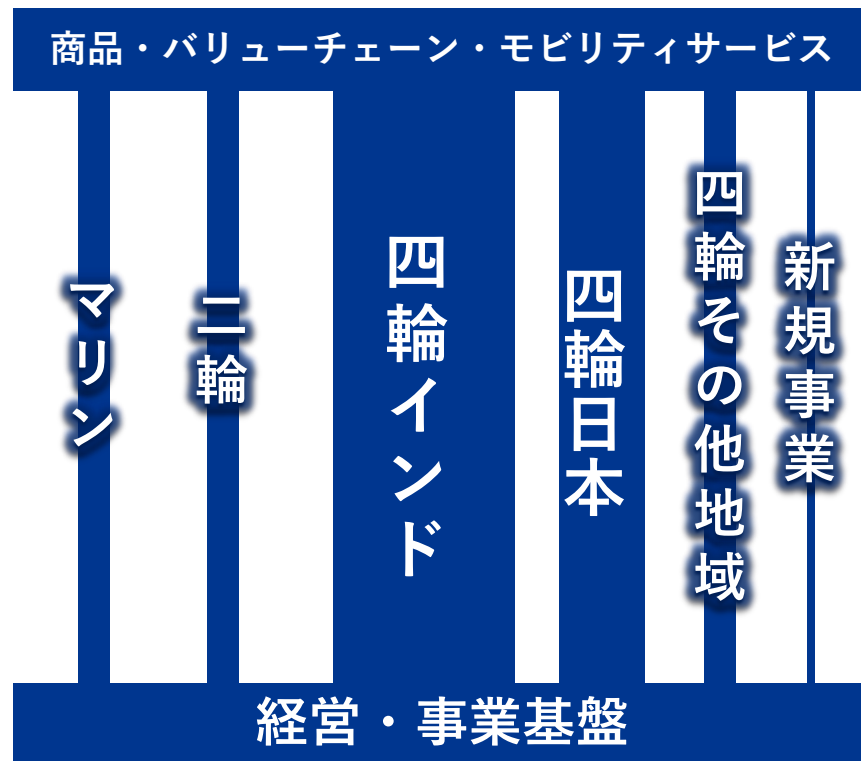
# 中期経営計画「By Your Side」進捗状況

- ・ 中期経営計画目標は営業利益8,000億円、営業利益率10.0%、ROE13.0%
- ・ 「新車収益」「バリューチェーン収益」「固定費」の三つの軸を基盤とした取り組みを推進
- ・ スズキの実態に合わせたROIC経営、資本コストの低減に取り組む



## 中期経営計画「By Your Side」達成に向けた取り組み | 事業基盤の強化

- ・「By Your Side」でお客様に徹底的に寄り添う、スズキのオペレーティング・システムを実践
- ・日本で培った成果や知見を、成長が続くインド事業にとどまらず、各地域における四輪、二輪、マリンおよび新規事業の成長につなげる



成長投資により企業価値を向上させ、DOE3.0%を基準に累進配当を着実に実施し、株主の皆様へお応えしていく。

## ■ 2026年3月期

- ・ 年間配当金 1株当たり **46円**（前期から5円増配(12.2%増)、DOE3.0%）
- ・ 期末配当金 1株当たり **24円**（前期から3円増配）

## ■ 2027年3月期予想

- ・ 年間配当金 1株当たり **51円**（当期から5円増配(10.9%増)、DOE3.0%）

※DOE = 1株当たり配当金 ÷ ((期首1株当たり親会社所有者帰属持分 + 期末1株当たり親会社所有者帰属持分) ÷ 2)

なお、親会社所有者帰属持分から、その他の資本の構成要素は除く

※2027年3月期予想のDOEは弊社試算値

# 目次

---

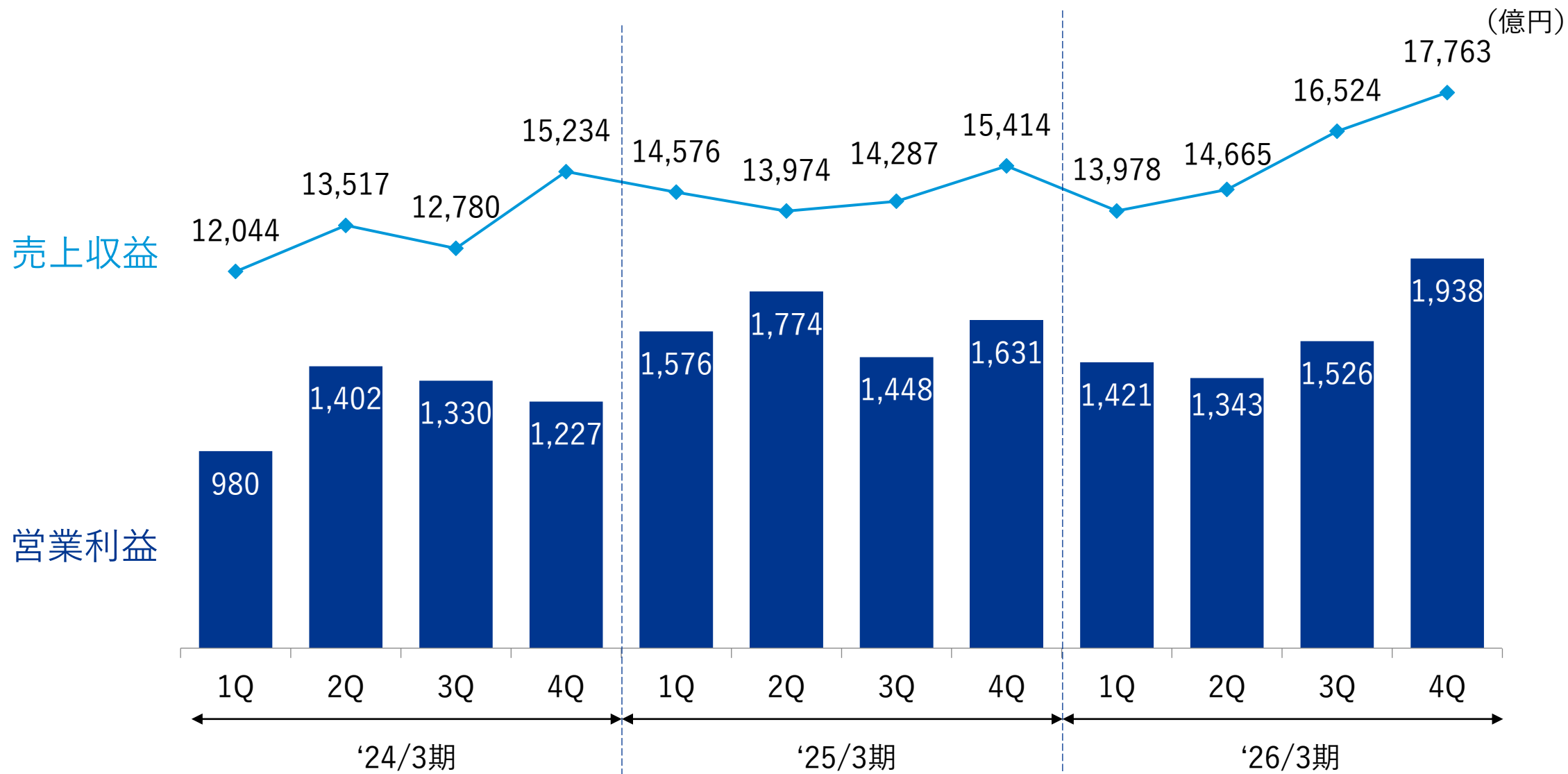
サマリー	2~4
株主還元	5
2026年3月期決算	7~16
総括	7
四半期ごとの業績	8
営業利益増減要因	9
事業別業績、営業利益増減要因	10
四輪・二輪台数実績	11~16
通期業績予想	17~20
総括	17
営業利益増減要因	18
四輪・二輪台数情報	19~20
補足資料	22~32

# 2026年3月期決算 | 総括

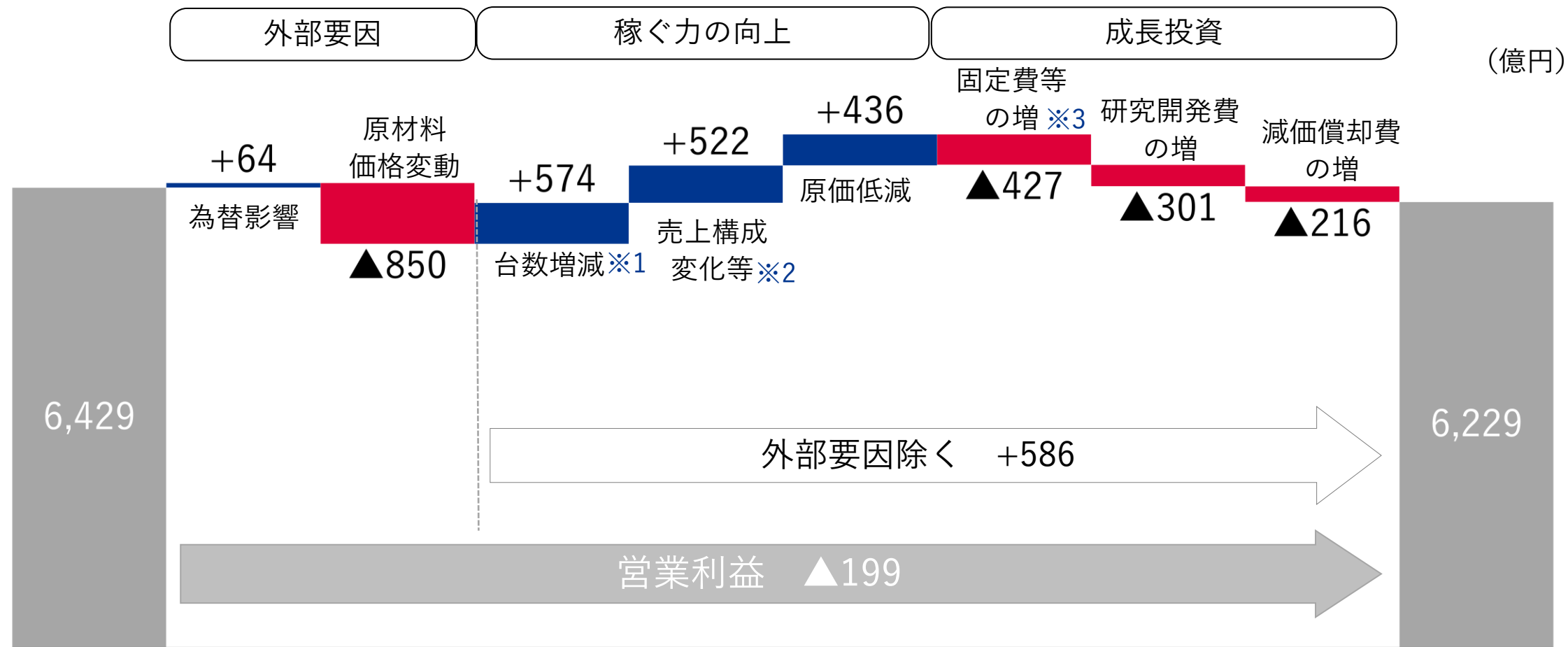
(億円)		当期 ( '25/4-'26/3)	前期 ( '24/4-'25/3)	増 減		補足
					増減率	
連結 業績	売上収益	62,930	58,252	+4,678	+8.0%	5期連続増収、過去最高
	営業利益 (利益率)	6,229 (9.9%)	6,429 (11.0%)	▲199	▲3.1%	4期ぶり減益
	税引前利益 (利益率)	7,307 (11.6%)	7,302 (12.5%)	+5	+0.1%	6期連続増益、過去最高
	当期利益 <sup>※</sup> (利益率)	4,393 (7.0%)	4,161 (7.1%)	+232	+5.6%	6期連続増益、過去最高
世界 販売	四輪車	3,320千台	3,241千台	+79千台	+2.4%	インド、パキスタン、アフリカ等で増加
	二輪車	2,261千台	2,064千台	+197千台	+9.5%	インド、中南米等で増加
配当	1株当たり 年間配当金	46円	41.0円	+5.0円	+12.2%	6期連続増配中 <sup>※</sup> 、過去最高 ※記念配当を含むと7期連続増配
資本 効率	ROE	13.8%	14.6%		▲0.7%	

※ 当期利益は親会社の所有者に帰属する当期利益

# 2026年3月期決算 | 四半期毎の業績



# 2026年3月期決算 | 営業利益増減要因 (通期)



前期  
'24/4-'25/3

※1 台数増減影響 主な内訳  
 ・ 当社単独 +9億円  
 ・ マルチスズキ +436億円

※2 売上構成変化等 主な内訳  
 ・ 当社単独 +319億円  
 ・ マルチスズキ +486億円

※3 固定費等の増 主な内訳  
 ・ 労務費 ▲478億円  
 ・ 営業政策費 +23億円  
 ・ 品質関連費用 +80億円

当期  
'25/4-'26/3

注：当期より、研究開発費については損益計算書に計上した金額による増減額を表示しています。

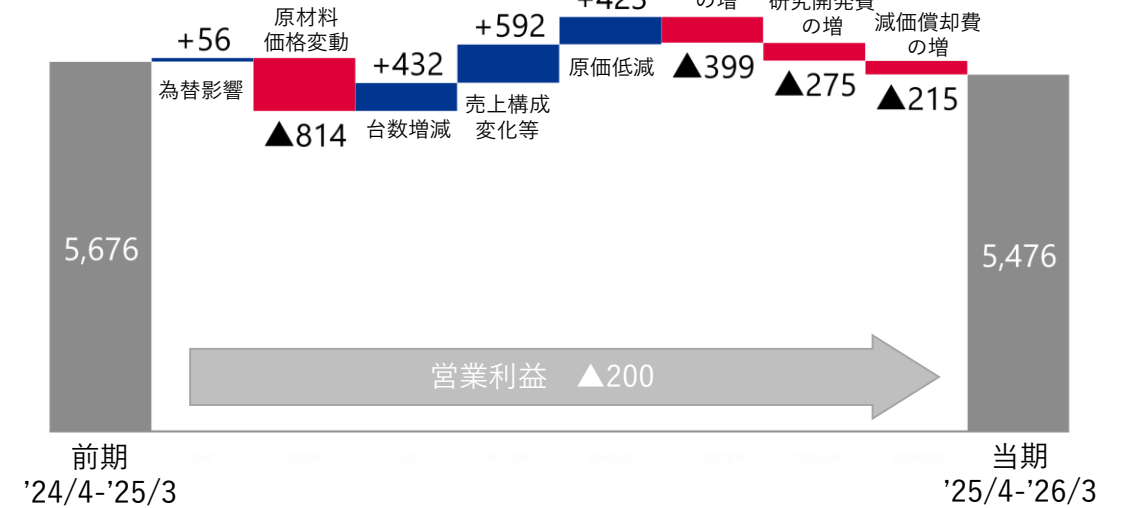
# 2026年3月期決算 | 事業別業績、営業利益増減要因

(億円)

	'25/4-'26/3					'26/1-3				
	売上収益		営業利益			売上収益		営業利益		
		前期比		前期比	利益率		前期比		前期比	利益率
四輪	57,064	+8%	5,476	▲4%	9.6%	16,062	+14%	1,728	+20%	10.8%
二輪	4,545	+14%	448	+10%	9.9%	1,312	+28%	130	+33%	9.9%
マリン	1,195	+9%	266	▲13%	22.3%	358	+19%	71	▲14%	19.9%
その他	126	+4%	39	+2%	31.0%	31	▲13%	9	▲4%	30.5%
連結計	62,930	+8%	6,229	▲3%	9.9%	17,763	+15%	1,938	+19%	10.9%

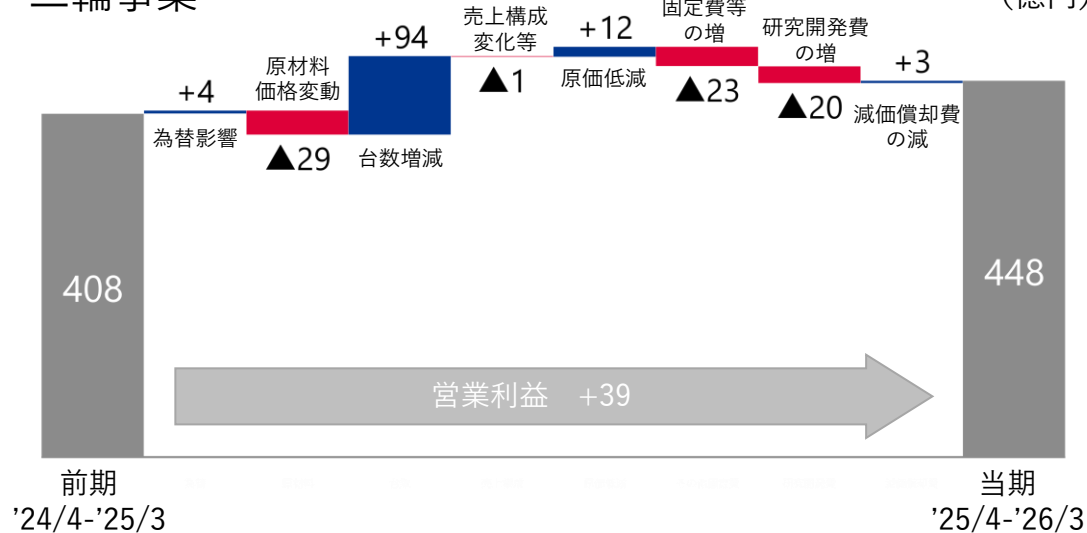
## 四輪事業

(億円)



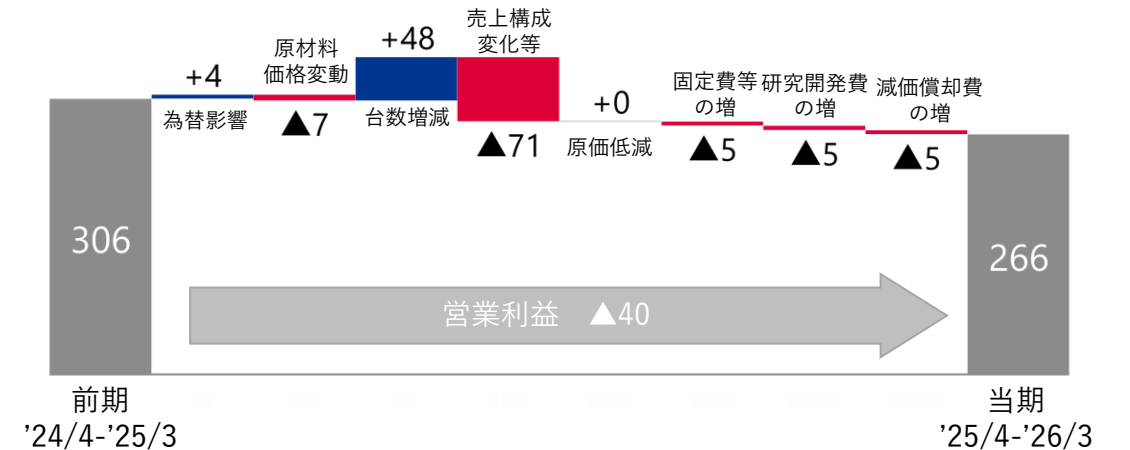
## 二輪事業

(億円)



## マリン事業

(億円)

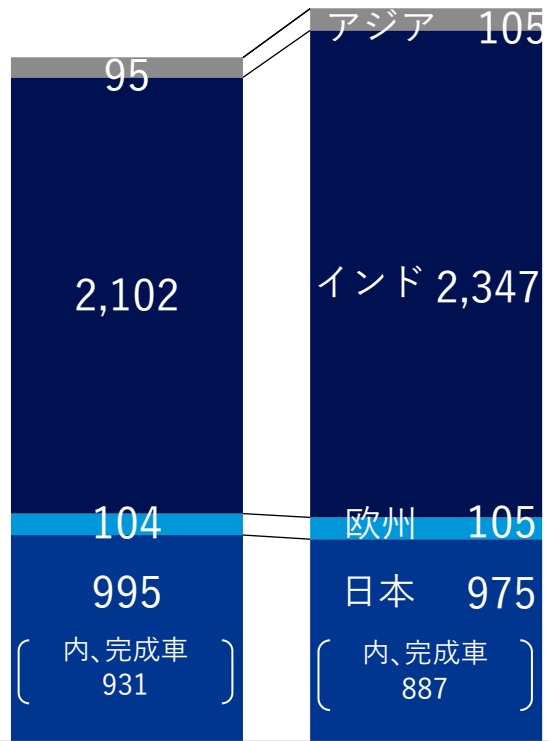


# 四輪台数実績 | グローバル

## 生産実績

+237 (+7.2%) (千台)

3,296 3,533



前期

'24/4-'25/3

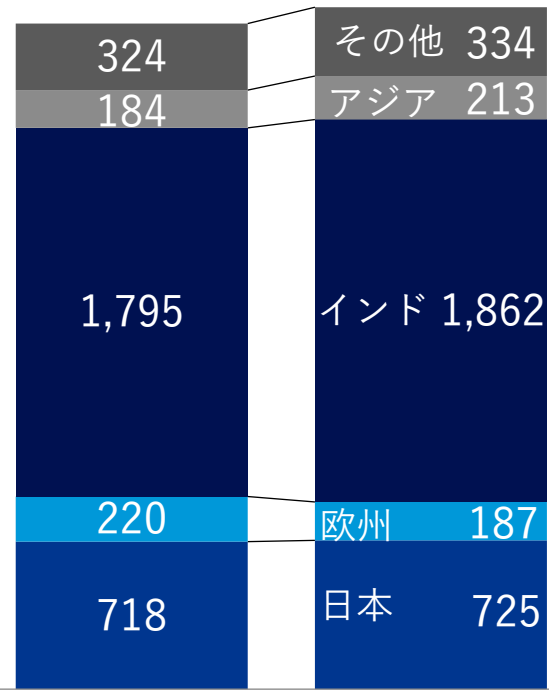
当期

'25/4-'26/3

## 販売実績

+79 (+2.4%) (千台)

3,241 3,320



前期

'24/4-'25/3

当期

'25/4-'26/3

## ● 当期の世界販売

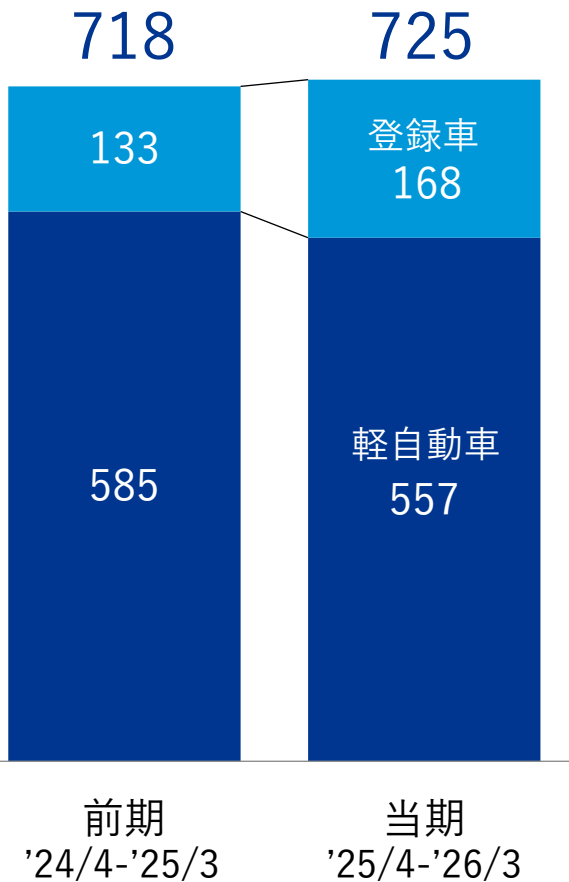
(千台)

	台数	前期比	
世界販売	3,320	+79	+2.4%
日本	725	+7	+1.0%
欧州	187	▲33	▲15.1%
インド	1,862	+66	+3.7%
アジア (除インド)	213	+29	+15.6%
パキスタン	88	+20	+28.5%
インドネシア	69	+4	+6.3%
フィリピン	21	+0	+0.4%
その他	334	+10	+3.1%
中南米	124	+2	+1.6%
アフリカ	127	+17	+15.7%
中近東	62	▲2	▲3.6%
大洋州	21	▲7	▲24.8%

# 四輪販売台数 | 日本

## 販売実績

+7 (+1.0%) (千台)

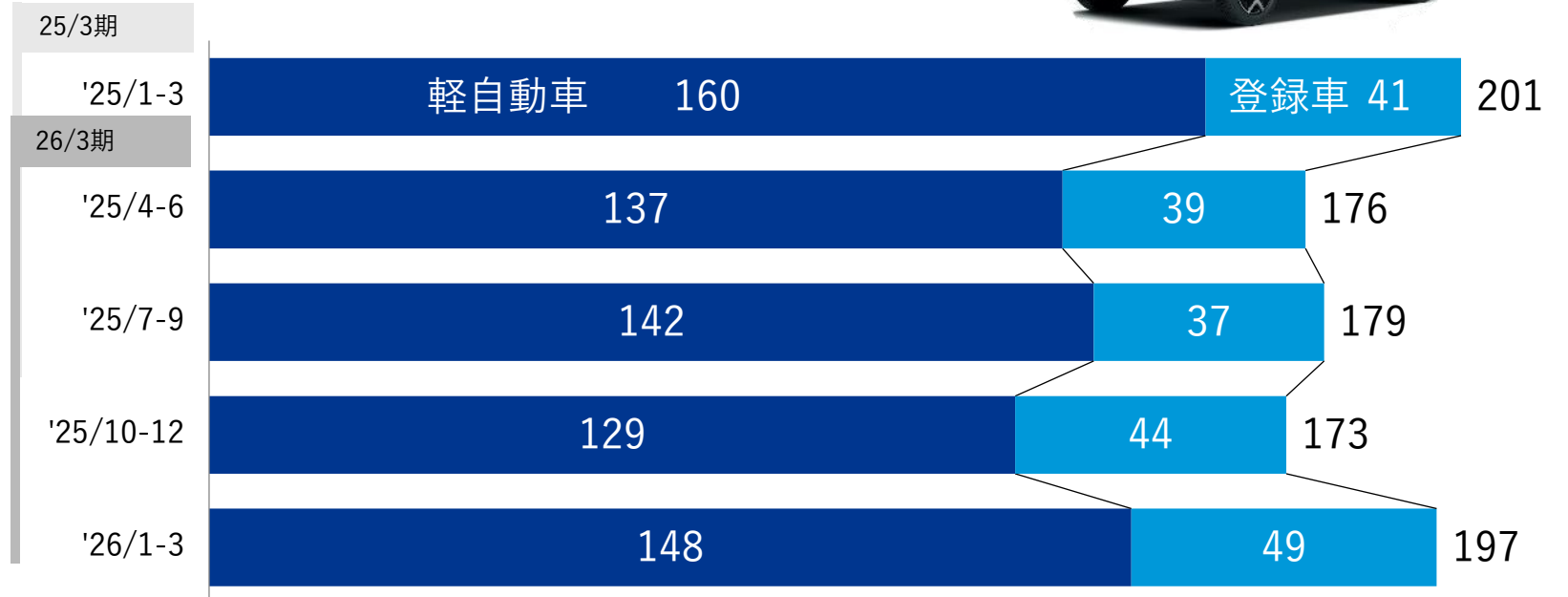


## 国内販売の状況

- 2025年度の軽自動車販売台数第1位(シェア33.0%)
- 2023年度以降3年連続で軽自動車国内販売台数第1位
- 2025年度の登録車販売台数は168千台(過去最高)
- 軽自動車と登録車の合計販売台数は4年連続シェア第2位
- 「eビターラ」は順調な滑り出し



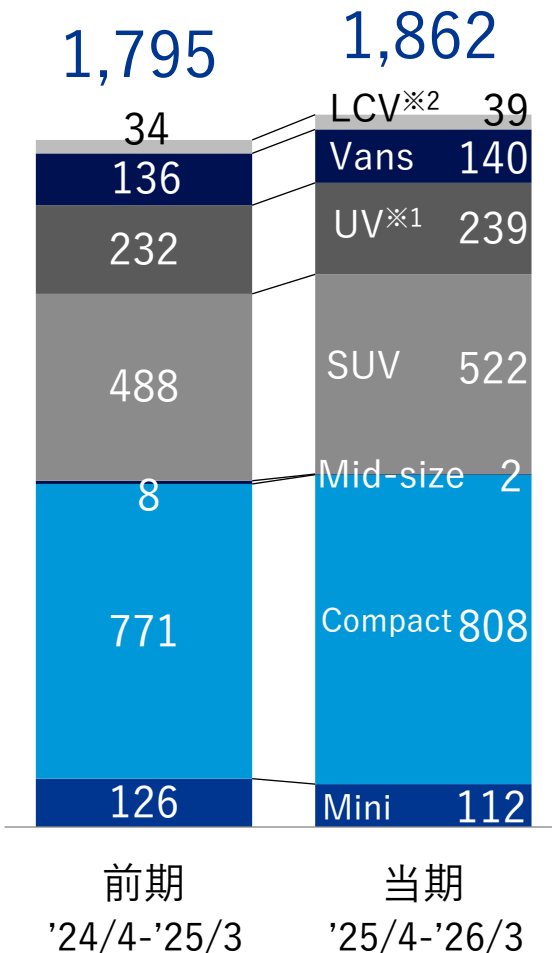
国内販売台数推移 (千台)



# 四輪販売台数 | インド

## 販売実績

+67 (+3.7%) (千台)



## ● 当期の販売実績

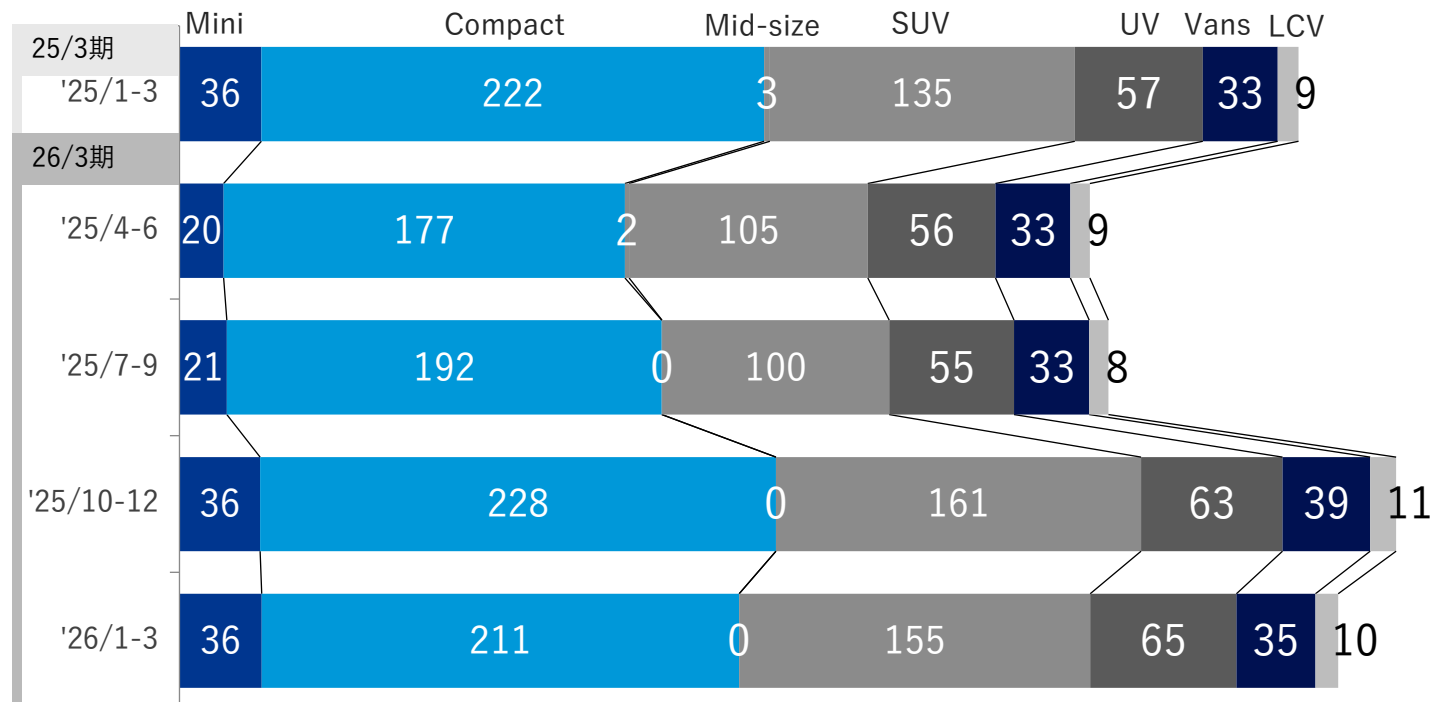
- ・ 2025年度の卸販売台数は1,862千台(前期比+3.7%)と過去最高
- ・ 輸出台数は過去最高となる448千台を達成(前期比+34.6%)
- ・ 2026年度上期中にはカルコダ工場とハンサルプール工場で2つの新製造ライン稼働開始を予定

## インド各工場の生産能力

(千台)

工場	現生産能力	26年度増強	計
グルガオン	500		500
マネサール	900		900
ハンサルプール	750	+250	1,000
カルコダ	250	+250	500
合計	2,400	+500	2,900

## 国内卸販売台数の内訳 (千台)



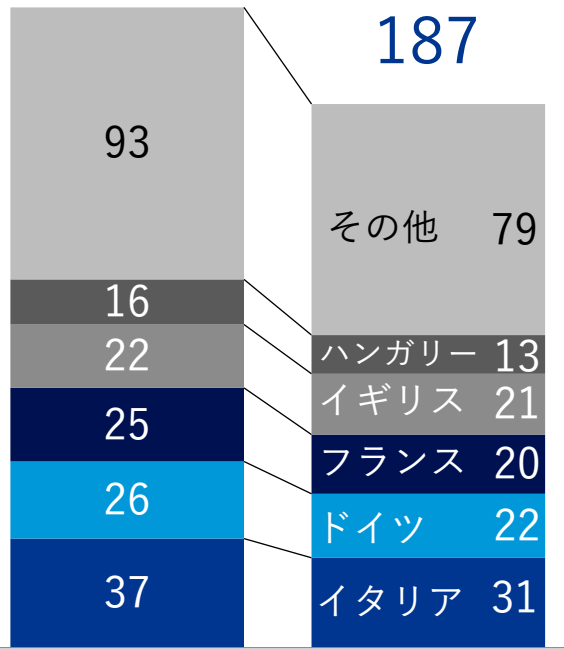
注. 商用車(LCV)を含む卸販売実績、OEMは除く  
 ※1 UV=Utility Vehicles (Ertiga等) ※2 LCV=Light Commercial Vehicles

# 四輪販売台数 | 欧州 / アジア (インド除く)

## 欧州

▲33 (▲15.1%)<sup>(千台)</sup>

220



前期

当期

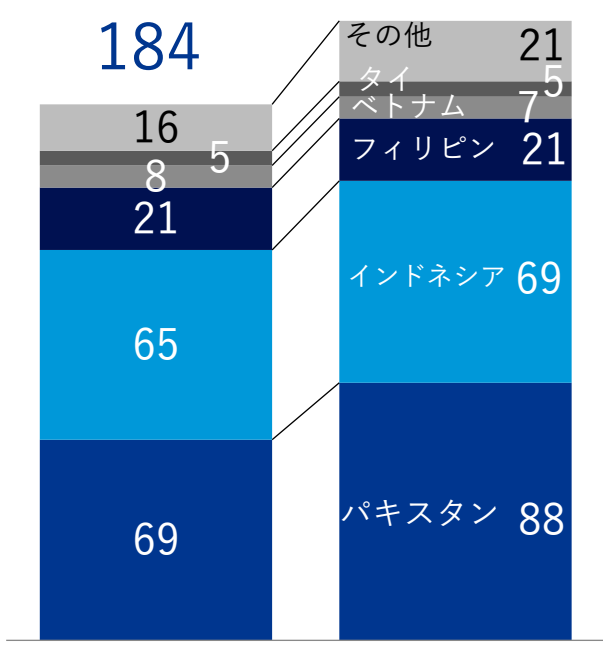
'24/4-'25/3

'25/4-'26/3

## アジア (インド除く)

+29 (+15.6%)<sup>(千台)</sup>

213



前期

当期

'24/4-'25/3

'25/4-'26/3

## ● 当期の販売状況

### ◆ 欧州

- ・「e ビターラ」は昨年9月に販売を開始
- ・「スイフト」は堅調な販売
- ・「イグニス」、「ジムニー」の販売終了等に伴い、全体の販売台数は減少



### ◆ アジア

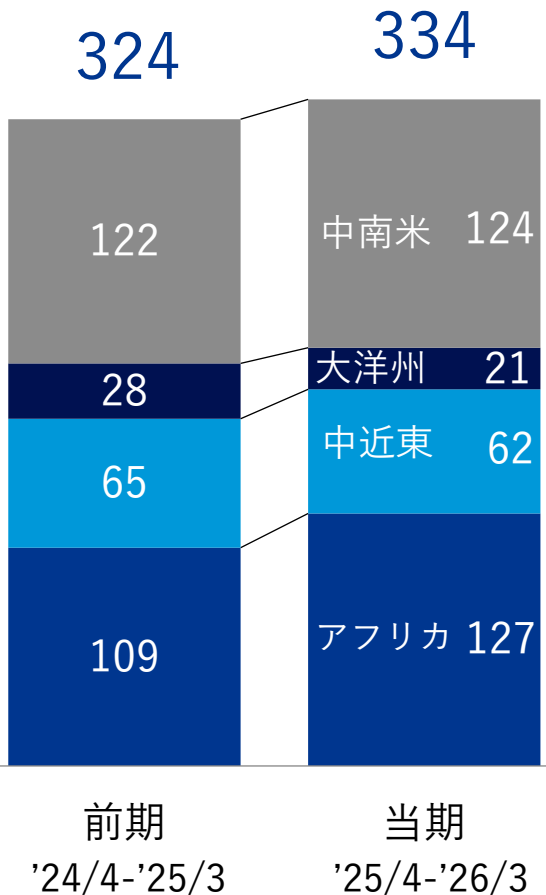
- ・パキスタンでは、堅調な経済の回復に伴い、販売台数が増加



# 四輪販売台数 | アフリカ・中近東・大洋州・中南米

## 販売実績

+10 (+3.1%) (千台)



## ● 当期の販売実績

(千台)

	台数	前期比
アフリカ	127	+17 +15.7%
南アフリカ	72	+9 +14.8%
アンゴラ	18	+6 +56.1%
中近東	62	▲2 ▲3.4%
サウジアラビア	37	+1 +3.3%
大洋州	21	▲7 ▲24.8%
中南米	124	+2 +1.9%
メキシコ	38	▲5 ▲12.3%
チリ	22	+1 +2.5%

- ・ アフリカ地域で販売が伸長
- ・ 南アフリカで約15%、アンゴラでは約56%の伸びを記録

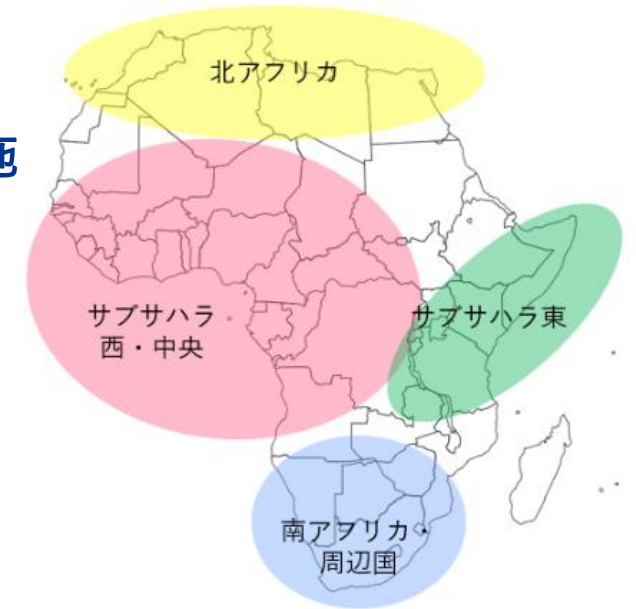


新型「アクロス」  
※インド名「ビクトリス」

## ● トピックス：アフリカ四輪事業説明会を実施

- ・ 4/15にアフリカ四輪事業説明会を実施。
- ・ 説明会資料は下記のリンクよりご参照ください。

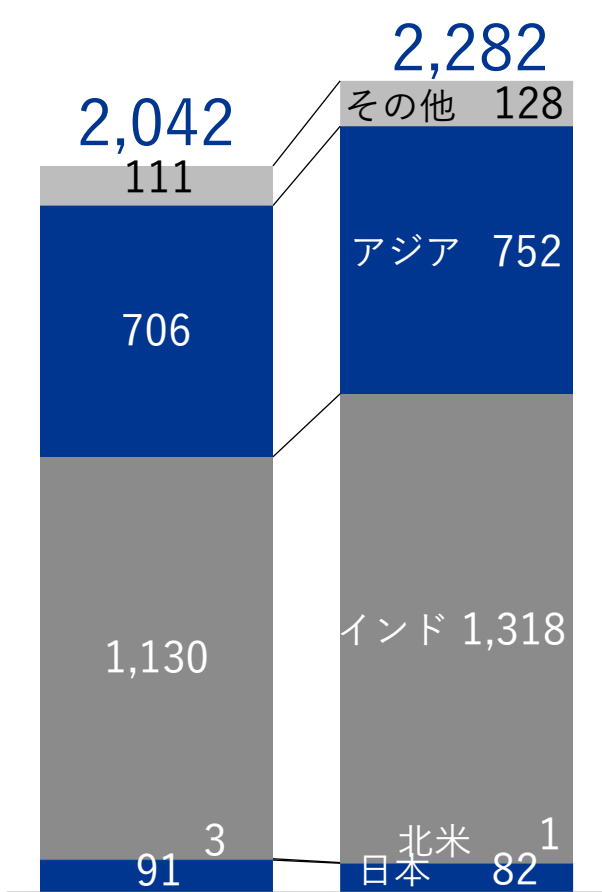
[https://www.suzuki.co.jp/ir/library/fo\\_rinvestor/pdf/africa\\_20260415.pdf](https://www.suzuki.co.jp/ir/library/fo_rinvestor/pdf/africa_20260415.pdf)



# 二輪台数実績 | グローバル

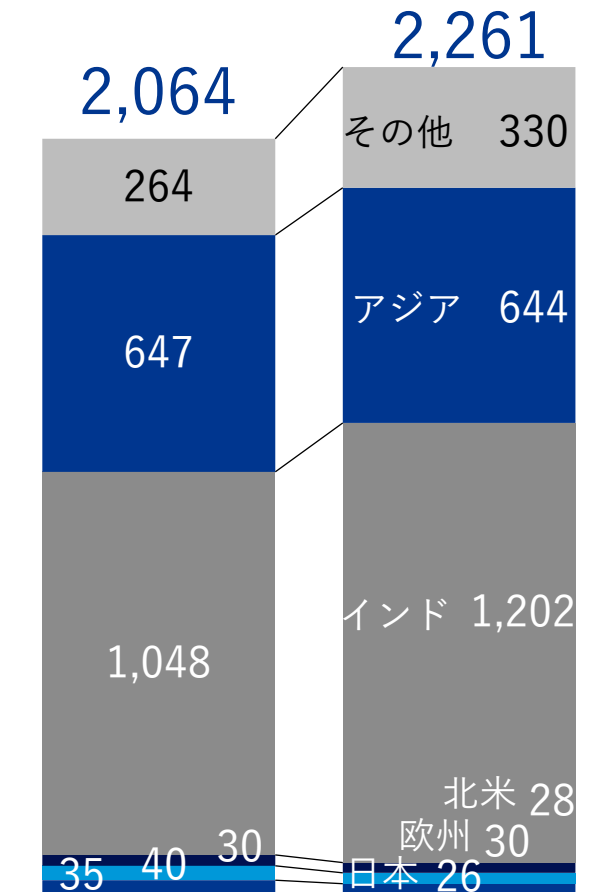
## 生産実績

+240 (+11.8%) (千台)



## 販売実績

+197 (+9.5%) (千台)



## トピックス

- スズキが100%出資するインド二輪子会社であるスズキ・モーターサイクル・インディア社は、2006年にハリアナ州グルグラムの工場にて二輪車の生産を開始してから今年で20周年を迎えました



- アメリカで開催されている世界最高峰のモトクロスレースシリーズ「AMAスーパークロス」においてスズキのマシン（RM-Z450）を駆るKen Roczen（ケン・ロクセン）選手が、シリーズチャンピオンを獲得



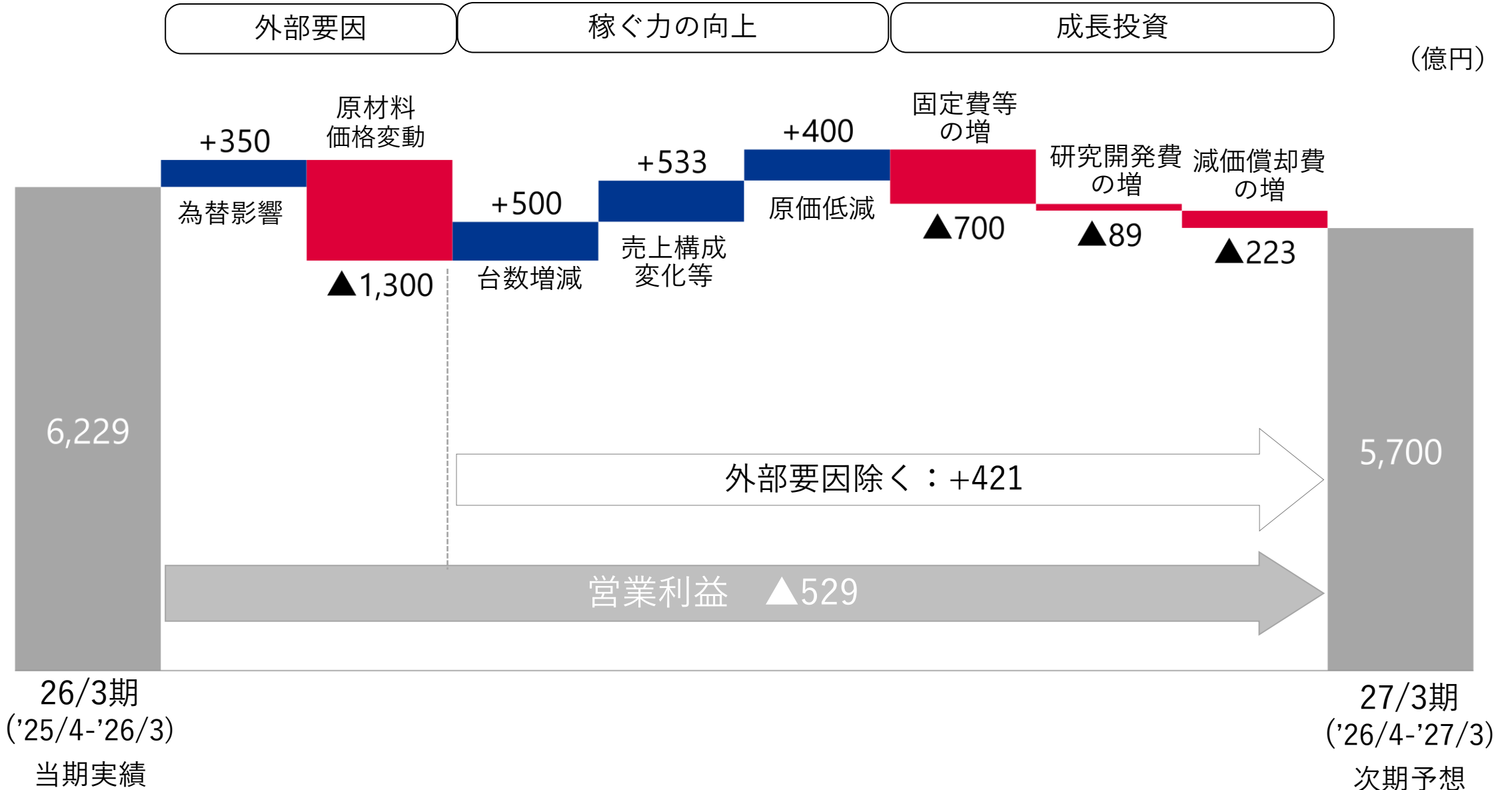
「RM-Z450」を駆るケン・ロクセン選手

## 次期業績予想 | 総括

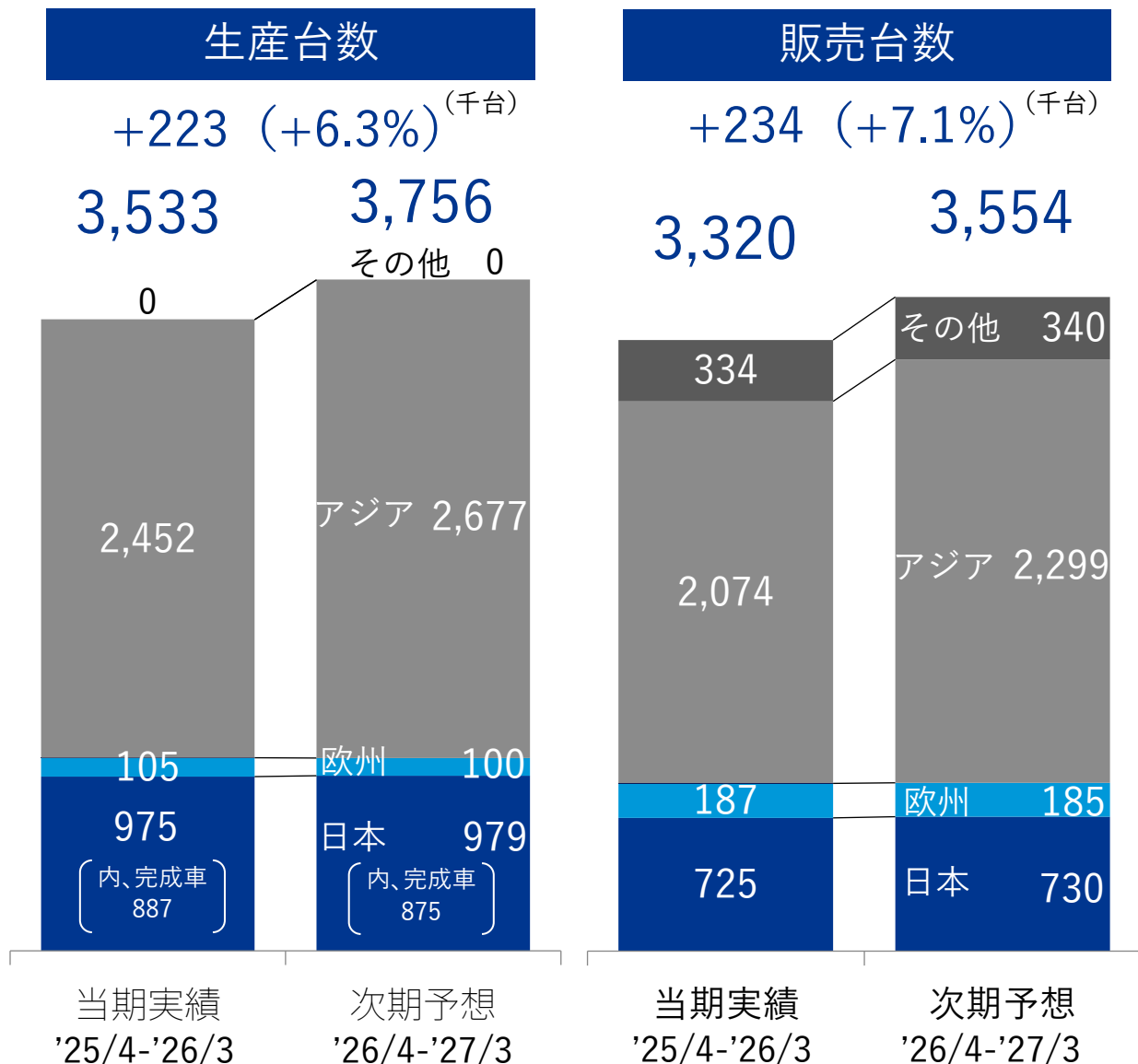
	(億円)	次期予想 ( '26/4-'27/3)	当期実績 ( '25/4-'26/3)	増 減		補足
					増減率	
連結 業績	売上収益	68,000	62,930	+ 5,070	+ 8.1%	6期連続増収
	営業利益 (利益率)	5,700 (8.4%)	6,229 (9.9%)	▲529	▲8.5%	2期連続減益
	税引前利益 (利益率)	6,600 (9.7%)	7,307 (11.6%)	▲707	▲9.7%	7期ぶり減益
	当期利益* (利益率)	3,800 (5.6%)	4,393 (7.0%)	▲593	▲13.5%	7期ぶり減益
為替 レート	米ドル	155円	151円	+ 4円	+ 2.9%	
	ユーロ	180円	175円	+ 5円	+ 3.1%	
	インドルピー	1.70円	1.72円	▲0.02円	▲1.2%	
世界 販売	四輪車	3,554千台	3,320千台	+ 234千台	+ 7.1%	
	二輪車	2,321千台	2,261千台	+ 61千台	+ 2.7%	
配当	1株当たり 年間配当	51円	46円	+ 5円	+ 10.9%	
資本 効率	ROE	10.8%	13.8%		▲3.1%	

※ 当期利益は親会社の所有者に帰属する当期利益

# 次期業績予想 | 営業利益増減要因・対 26/3期実績



# 次期業績予想 | 四輪生産台数・販売台数



## ●生産台数

(千台)	当期実績	次期予想	増減	増減率
世界生産	3,533	3,756	+223	+6.3%
日本	975	979	+4	+0.4%
欧州	105	100	▲6	▲5.3%
アジア	2,452	2,677	+225	+9.2%
その他	0	0	▲0	▲82.8%

## ●販売台数

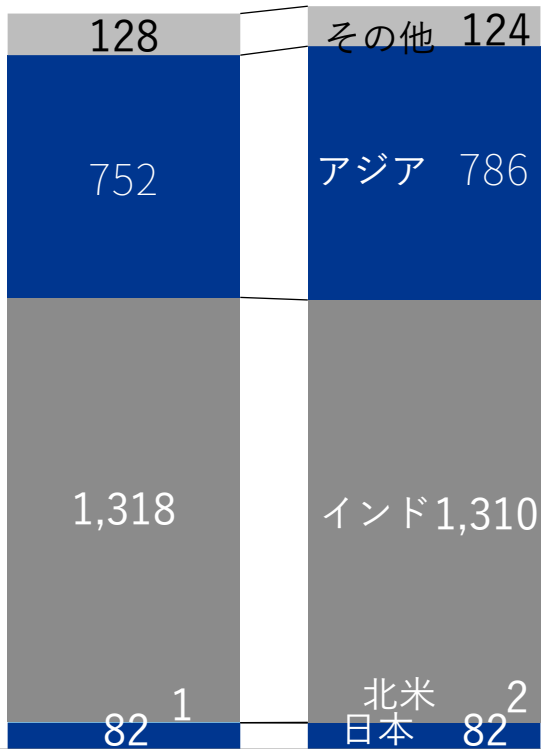
(千台)	当期実績	次期予想	増減	増減率
世界販売	3,320	3,554	+234	+7.1%
日本	725	730	+5	+0.8%
欧州	187	185	▲1	▲0.8%
アジア	2,074	2,299	+224	+10.8%
その他	334	340	+6	+1.8%

# 次期業績予想 | 二輪生産台数・販売台数

## 生産台数

+23 (+1.0%) (千台)

2,282      2,304



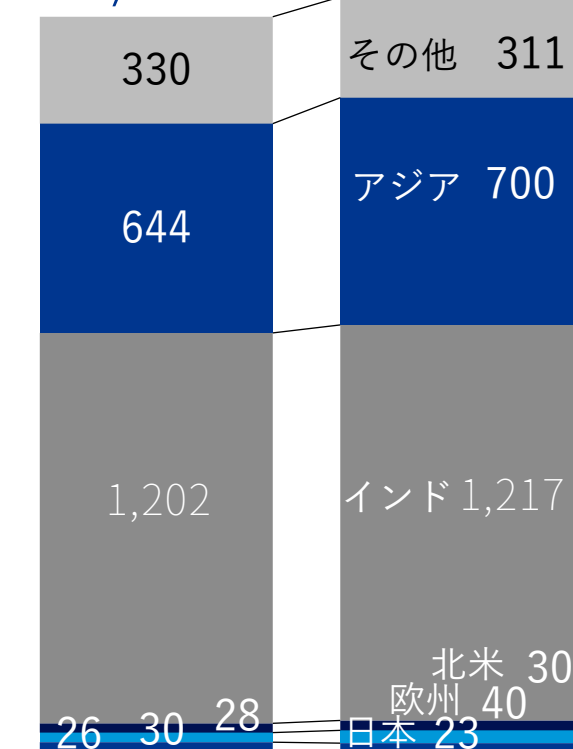
当期実績  
'25/4-'26/3

次期予想  
'26/4-'27/3

## 販売台数

+61 (+2.7%) (千台)

2,261      2,321



当期実績  
'25/4-'26/3

次期予想  
'26/4-'27/3

## ●生産台数

(千台)

	当期実績	次期予想	増減	増減率
世界生産	2,282	2,304	+23	+1.0%
日本	82	82	▲0	▲0.6%
北米	1	2	+1	+69.5%
インド	1,318	1,310	▲8	▲0.6%
アジア(除インド)	752	786	+34	+4.6%
その他	128	124	▲4	▲3.3%

## ●販売台数

(千台)

	当期実績	次期予想	増減	増減率
世界販売	2,261	2,321	+61	+2.7%
日本	26	23	▲2	▲9.6%
欧州	30	40	+10	+32.5%
北米	28	30	+2	+7.6%
インド	1,202	1,217	+15	+1.2%
アジア(除インド)	644	700	+56	+8.6%
その他	330	311	▲19	▲5.9%

---

# 補足資料

# 2026年3月期決算 | 売上収益の状況

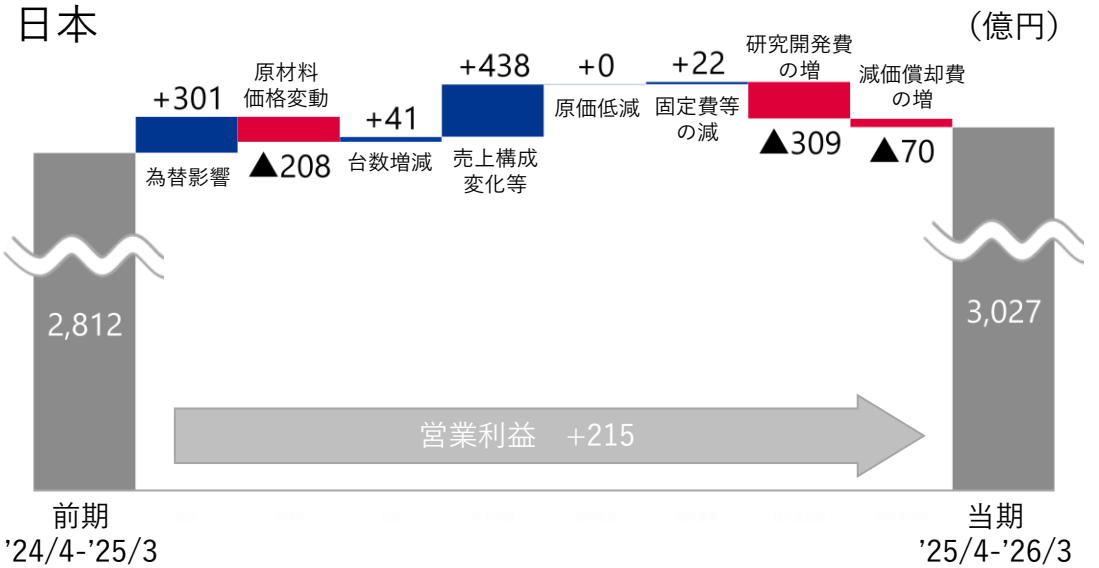
(億円)	四輪			二輪			マリン			その他			合計			増減内訳		
	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減	為替影響	台数増減	構成変動等
日本計	15,646	14,572	+1,074	176	184	▲8	32	32	▲0	126	121	+5	15,980	14,910	+1,070		+107	+963
自 社	14,548	13,488	+1,060	176	184	▲8	32	32	▲0	126	121	+5	14,882	13,826	+1,056			
O E M	1,099	1,084	+14										1,099	1,084	+14			
海外計	41,418	38,480	+2,938	4,369	3,797	+572	1,162	1,064	+98				46,950	43,342	+3,608	▲1,170	+2,114	+2,664
欧 州	6,179	5,798	+382	439	436	+3	223	186	+36				6,841	6,420	+421	+370	▲346	+397
北 米	4	4	▲0	511	398	+113	584	550	+33				1,098	953	+145	▲13	+151	+7
アジア	28,754	26,190	+2,564	2,229	2,166	+63	116	116	▲0				31,098	28,472	+2,626	▲1,620	+1,588	+2,658
インド	25,162	23,015	+2,147	1,613	1,448	+164	10	12	▲2				26,785	24,476	+2,310	▲1,523	+1,036	+2,796
〃以外	3,591	3,174	+417	616	718	▲102	106	104	+1				4,313	3,996	+317	▲97	+552	▲138
その他	6,481	6,488	▲7	1,190	797	+394	241	212	+29				7,912	7,497	+415	+93	+721	▲399
総合計	57,064	53,052	+4,012	4,545	3,981	+564	1,195	1,097	+98	126	121	+5	62,930	58,252	+4,678	▲1,170	+2,221	+3,627
内、為替換算影響			▲1,112			▲63			+5						▲1,170			

注. 当期…2025年4月～2026年3月期、前期…2024年4月～2025年3月期、北米…米国・カナダ、北米四輪車…部品用品等

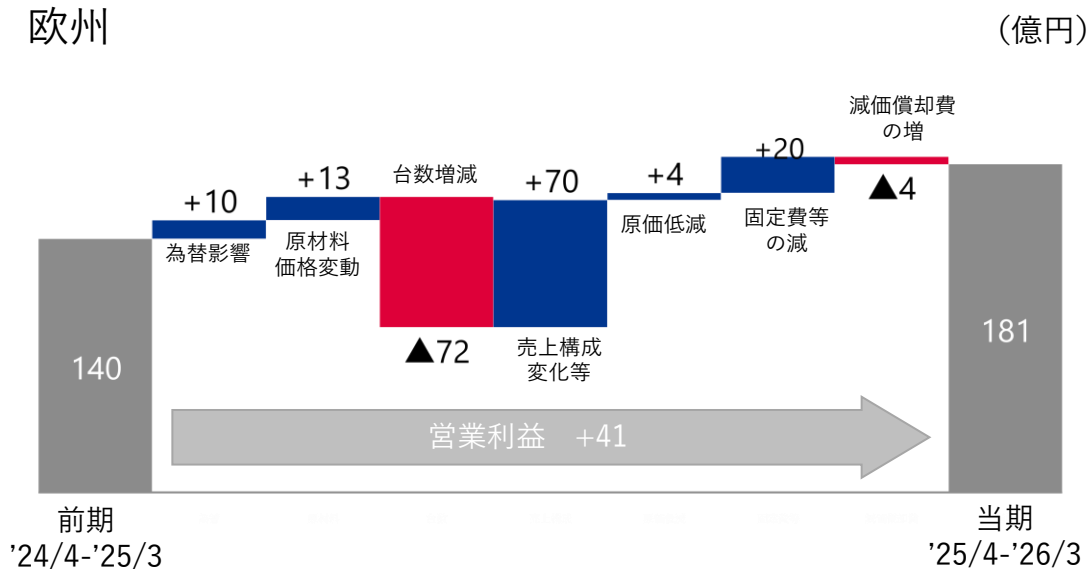
# 2026年3月期決算 | 所在地別業績、営業利益増減要因

## 所在地セグメント別業績

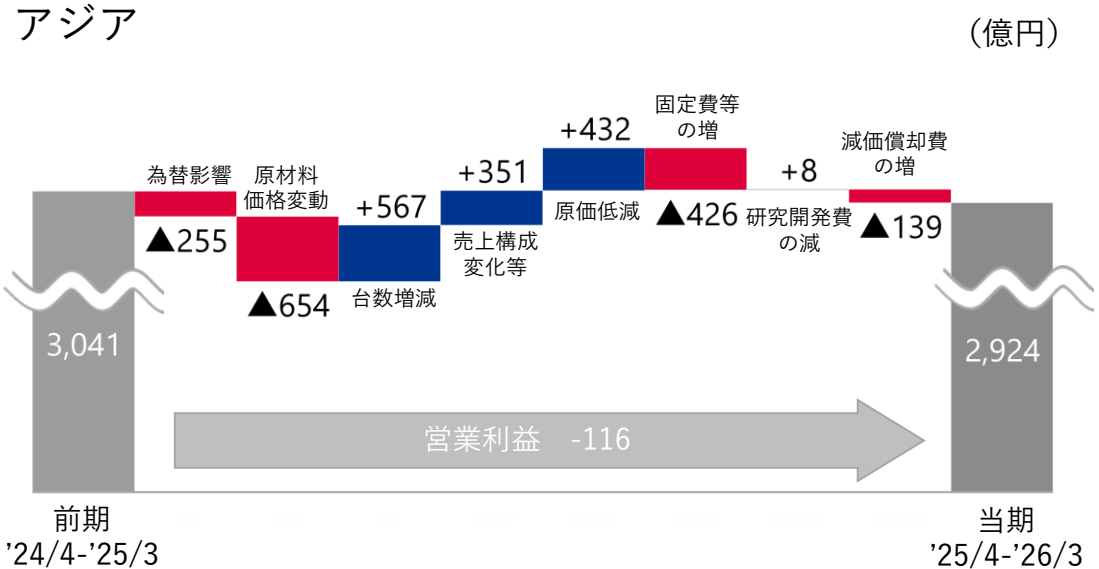
	'25/4-'26/3					'26/1-3				
	売上収益		営業利益			売上収益		営業利益		
	前年比		前年比	前年比	利益率	前年比	前年比	前年比	利益率	
日本	32,495	+12%	3,027	+8%	9.3%	9,222	+24%	923	+61%	10.0%
欧州	7,350	▲8%	181	+29%	2.5%	2,240	+10%	66	+17%	3.0%
アジア	37,097	+13%	2,924	▲4%	7.9%	10,543	+21%	867	+11%	8.2%
その他	4,919	+8%	204	+55%	4.2%	1,418	+19%	56	+21%	4.0%
連結計	62,930	+8%	6,229	▲3%	9.9%	17,763	+15%	1,938	+19%	10.9%



## 欧州



## アジア



# 单独

(億円)	当 期 ( '25/4-'26/3)	前 期 ( '24/4-'25/3)	増 減		補 足
				増減率	
売上高	29,679	26,279	+ 3,400	+ 12.9%	4期連続増収、過去最高
国内	12,976	11,972	+ 1,004	+ 8.4%	
輸出	16,704	14,307	+ 2,397	+ 16.8%	
一般	8,244	7,853	+ 391	+ 5.0%	
三国間	8,460	6,454	+ 2,006	+ 31.1%	
営業利益 (利益率)	2,241 (7.6%)	1,881 (7.2%)	+ 360	+ 19.2%	2期ぶり増益、過去最高
経常利益 (利益率)	2,844 (9.6%)	2,390 (9.1%)	+ 454	+ 19.0%	2期ぶり増益、過去最高
当期純利益 (利益率)	2,537 (8.5%)	2,311 (8.8%)	+ 226	+ 9.8%	7期連続増益、過去最高

# 2026年3月期決算 | マルチ・スズキ・インドシア社の業績

		ルピー建 (億ルピー) ※1			円換算額 (億円)		
		当期	前期※4	増減	当期	前期	増減
連結業績	売上収益	17,438	14,511	+ 2,927	29,994	26,410	+ 3,584
	営業利益※2 (利益率)	1,471 (8.4%)	1,455 (10.0%)	+ 17	2,531 (8.4%)	2,648 (10.0%)	▲117
	税引前利益 (利益率)	1,912 (11.0%)	1,962 (13.5%)	▲50	3,288 (11.0%)	3,571 (13.5%)	▲282
	税引後利益 (利益率)	1,468 (8.4%)	1,450 (10.0%)	+ 18	2,525 (8.4%)	2,639 (10.0%)	▲114
	為替レート	1.72円	1.82円	▲0.10円			
	卸販売	国内販売※3	1,975千台	1,902千台	+ 73千台		
	輸出※3	448千台	333千台	+ 115千台			
	合計	2,423千台	2,234千台	+ 188千台			

※1 ルピー建は、4月28日付でマルチ・スズキ・インドシア社が発表した連結業績値

※2 営業利益は次式により算出 営業利益 = Sale of products + Sale of services + Other operating revenues - Total Expenses + Finance costs

※3 国内販売および輸出はOEMを含む

※4 前期の業績値は、当期との比較のため、前期期初よりSMGを連結した前提で再計算した数値

注. マルチ・スズキ・インドシア社はIndAS (インド版IFRS) に基づき会計処理をしており、本数値はあくまでも参考値



## 2026年3月期決算 | 設備投資等

	当期 ( '25/4-'26/3 )	前期 ( '24/4-'25/3 )	増 減
設備投資	3,507億円	3,618億円	▲112億円
当社単独	1,088億円	913億円	+175億円
子会社	2,418億円	2,705億円	▲287億円
(内、インド)	(1,753億円)	(1,975億円)	(▲221億円)
減価償却費	2,177億円	1,961億円	+216億円
研究開発費 (計上)	2,711億円	2,410億円	+301億円
研究開発費 (支出)	2,704億円	2,656億円	+49億円

※ インド：マルチ・スズキ社（グジャラートを含む）、SMIPL社、TDSG社、SRDI社、Sデジタル、NBV 6社の合計

※ リース取引および無形資産に係る設備投資、減価償却費は上記の実績値に含まない

※ 研究開発費について、従来は支出額（支出ベース）を表示していましたが、当期より損益計算書への計上額（計上ベース）を表示するよう変更します。

「研究開発費（計上）」…当期に費用処理された研究開発関連費用の合計額

「研究開発費（支出）」…研究開発活動のために支出した現金等の金額

	当期末 ( '26/3末 )	前期末 ( '25/3末 )	増 減
有利子負債残高	7,486億円	7,253億円	+233億円
連結子会社数	121社	122社	▲1社
持分法適用関連会社数	37社	35社	+2社
従業員数	76,889人	74,077人	+2,812人

# 2026年3月期決算 | 研究開発費の表示方法の見直し

(億円)

		1Q	2Q	3Q	4Q	通期
当期	研究開発費 (計上)	621	696	680	714	2,711
	研究開発費 (支出)	631	719	626	729	2,704
	差額(支出⇒計上)	▲10	▲23	+54	▲14	+6
前期	研究開発費 (計上)	591	546	566	708	2,410
	研究開発費 (支出)	557	678	567	853	2,656
	差額(支出⇒計上)	+34	▲132	▲1	▲146	▲246
前年同期比	研究開発費 (計上)	+30	+150	+114	+7	+301
	研究開発費 (支出)	+73	+41	+59	▲125	+49
	差額(支出⇒計上)	▲44	+109	+55	+131	+252

※ 研究開発費について、従来は支出額（支出ベース）を表示していましたが、当期より損益計算書への計上額（計上ベース）を表示するよう変更します。

「研究開発費（計上）」…当期に費用処理された研究開発関連費用の合計額

「研究開発費（支出）」…研究開発活動のために支出した現金等の金額

## 2026年3月期決算 | 為替レートと為替影響額

	当期 ( '25/4-'26/3 )	前期 ( '24/4-'25/3 )	前期比増減		営業利益 為替影響	
					感応度 <sup>※2</sup>	影響額
ユーロ	175円	164円	+11円	+6.6%	+19億円	+207億円
ポンド	202円	195円	+7円	+3.7%	+4億円	+31億円
南アフリカランド	8.71円	8.37円	+0.34円	+4.1%	※2 +1億円	+30億円
メキシコペソ	8.16円	8.02円	+0.14円	+1.7%	※2 +1億円	+15億円
ポーランドズロチ	41円	38円	+3円	+7.3%	+5億円	+13億円
パキスタンルピー	0.54円	0.55円	▲0.01円	▲1.8%	※2 +12億円	▲12億円
米ドル	151円	153円	▲2円	▲1.3%	+9億円	▲16億円
インドルピー	1.72円	1.82円	▲0.10円	▲5.5%	※2 +22億円	▲222億円
その他 <sup>※1</sup>	—	—	—	—		+19億円
営業利益為替影響額 合計						+64億円

※1 その他…影響額+19億円のうち、オーストラリアドル8億円、インドネシアルピア6億円、台湾ドル6億円、チリペソ5億円、ニュージーランドドル▲2億円、ベトナムドン▲4億円ほか

※2 感応度…レートが1円円安方向に動いた際の営業利益影響額。

ただし、南アフリカランド、メキシコペソ、パキスタンルピー、インドルピーについては、0.01円動いた際の営業利益影響額。

## 次期業績予想 | 為替レートと為替影響額

	次期予想 (’26/4-’27/3)	当期実績 (’25/4-’26/3)	前期比増減		営業利益 為替影響	
					感応度 <sup>※1</sup>	影響額
ユーロ	180円	175円	+5円	+3.1%	+19億円	+103億円
南アフリカランド	9.46円	8.71円	+0.75円	+8.6%	※1 +1億円	+77億円
メキシコペソ	8.84円	8.16円	+0.68円	+8.3%	※1 +1億円	+59億円
米ドル	155円	151円	+4円	+2.9%	+10億円	+42億円
オーストラリアドル	108円	100円	+8円	+8.3%	+4億円	+32億円
パキスタンルピー	0.56円	0.54円	+0.02円	+3.7%	※1 +14億円	+28億円
ポンド	208円	202円	+6円	+3.0%	+3億円	+17億円
インドルピー	1.70円	1.72円	▲0.02円	▲1.2%	※1 +35億円	▲69億円
営業利益為替影響額 合計						+350億円

※1 感応度…レートが1円円安方向に動いた際の営業利益影響額。

ただし、南アフリカランド、メキシコペソ、パキスタンルピー、インドルピーについては、0.01円動いた際の営業利益影響額。

## 次期業績予想 | 設備投資・減価償却費・研究開発費

(億円)	次期予想	当期実績	増減
設備投資	3,800	3,507	+ 293
減価償却費	2,400	2,177	+ 223
研究開発費(計上)	2,800	2,711	+ 89
研究開発費(支出)		2,704	+ 96

※ リース取引および無形資産に係る設備投資、減価償却費は上記の実績・予想に含まない

※ 研究開発費について、従来は支出額（支出ベース）を表示していましたが、当期より損益計算書への計上額（計上ベース）を表示するよう変更します。

「研究開発費（計上）」…当期に費用処理された研究開発関連費用の合計額

「研究開発費（支出）」…研究開発活動のために支出した現金等の金額



# 2026年3月期 決算説明会



Hayabusa Tuned by JURI

2026年5月14日 スズキ株式会社



## 将来予想に関する注意事項

- このプレゼンテーション資料に記載した将来予想は、現時点で入手可能な情報及び仮定に基づき当社が判断したもので、リスクや不確実性を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。
- 実際には、様々な要因の変化により大きく異なることがありえますことをご承知おき下さい。
- 実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、地政学リスク、主要市場における経済情勢及び需要の動向、為替相場の変動などが含まれます。